

# 福岡県うきは市における森林環境譲与税の活用について（令和6年度）

## ■令和6年度の具体的な活用状況

番号	事業区分	事業名	事業費(千円)		事業内容	実績
				うち譲与税		
1	森林整備	森林所有者意向調査推進業務	2,367	2,367	森林経営管理法に基づく森林所有者に対する森林経営についての意向調査を実施	田籠東地区 45.38ha
2	森林整備	森林作業道維持改良支援事業	2,633	2,633	森林整備の拡大のための森林作業道維持改良に対する補助	作業道 3路線
3	森林整備	危険木除去等支援対策事業	2,735	2,735	台風等による倒木被害拡大防止に向けた事前伐採に対する補助	5件
4	森林整備	私有林再荒廃防止事業	1,810	1,810	市による荒廃森林再生事業実施後10年以上経過し、再び林冠が鬱閉するなど荒廃する恐れのある森林を整備	調査・整備 4.13ha
5	森林整備	野生動物緩衝林整備事業費補助金	3,805	381	農業被害が発生する中山間地域において野生動物との棲み分けを図るための緩衝林の除伐・下刈り等の森林整備	1.34ha
6	木材利用	未利用材利活用促進事業	3,700	3,700	これまで利用がされていなかった林地残材を木質バイオマスとして利用する取り組みを支援	1,850t
7	普及啓発	森林環境教育事業費補助金	78	78	林業への理解促進や木材と触れ合う機会の創出など、森林や木材の普及啓発を行う事業、研究を対象に支援	3件
8	人材育成 担い手	林業・木材産業振興事業費補助金	3,299	3,299	林業・木材産業に従事する担い手の確保のため、安全装備の購入や技術習得のための研修の受講、労働環境の改善を支援	15件
9	人材育成 担い手	防災・環境保全・小規模林業支援 事業費補助金	2,595	2,595	小規模林業等による防災・生物多様性に資する取組や、新たな担い手の確保・育成に必要な経費を支援	8件
10	人材育成 担い手	林業従事者支援事業費補助金	1,056	1,056	林業の一人親方からなる林産事業組合組合員の労災保険料及び林業退職金共済制度掛け金の補助、うきは市林業研究グループの活動費助成	延べ37名
11	林道整備	林道維持管理業務委託料	1,800	1,800	森林の整備に必要な林道40路線のパトロール・豪雨時等の巡視を実施	巡視6回
合計			22,878	22,454	基金積立金:13,863千円	—

# 福岡県うきは市における森林環境譲与税の活用について（令和6年度）

## ■活用状況(全体像)

区分	令和元年度～ 令和5年度	令和6年度	累計	令和6年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額(千円)	76,376	22,454	98,831	69%	森林整備及びうきは市内の小中学校 建設に伴う内装木質化等に活用
譲与額(千円)	106,552	36,318	142,870		

## ■税導入の効果

- ・令和6年度から林業従事者支援事業費補助金を用いて、労災保険及び林業退職金共済制度加入に対する補助を実施し、林業の担い手対策を実施した。木材産業の従事者の安全作業の確保のため、労働環境改善に資するスポットクーラー等の導入や施設整備経費に対する補助を実施した。
- ・令和5年度から継続して、森林作業道の維持・改良に対する支援、荒廃の恐れのある私有林整備事業を実施することにより、森林環境の保全を推進した。
- ・危険木除去対策支援事業、未利用材利活用促進事業を継続して実施することにより、防災対策を推進した。



- ▶ うきは市では、森林組合等により集約化が推進され森林整備を実施している。
- ▶ 一方で、今後の人口減少や高齢化に伴う担い手の減少が課題となっている。このため、森林整備の拡大に資する取組みや労働環境改善など総合的に林業・木材産業の発展を推進していく方針。

## □ 事業内容

### 林業・木材産業振興事業補助金（R6拡充）

【補助対象者】 森林組合、認定事業主、  
一人親方等で構成される労災保険の特別加入団体、  
福岡県木材業者登録名簿に登録された木材業者

【事業費】 875千円（うち譲与税875千円）

【実績】 研修支援事業 74千円

安全対策・作業負担軽減事業 576千円

〈拡充〉労働環境改善事業 1,762千円

対象事業所数：6件

（内容）スポットクーラー、大型扇風機の導入

労働環境改善に資するデジタル機器の導入

## □ 取組の背景

・うきは市には原木市場が存するとともに、18の製材所（R6時点）が集積しており、製材業は本市の重要な産業の一つとなっている。

・一方で、人口減少や世代交代に伴う人材の確保が課題となっている。

・また、近年の気候変動に伴う猛暑の影響等により製材所の労働環境は改善が必要である。



（製材所に導入した  
スポットクーラー）

## □ 工夫・留意した点

・人材の確保に資する取組みとして、製材所の労働環境の改善に対する支援を実施した。

・従来の補助事業の拡充として実施するに当たり、木材協同組合の役員会に伺い広く周知を行った。

## □ 取組の効果

・労働環境を改善する事業により、全6事業所において、スポットクーラーの導入等が行われ、猛暑の中での作業環境の改善を行うことができた。

・本事業の事業内容拡充の周知と併せて、従来からの継続事業の周知も行ったため、安全対策・作業負担軽減事業の利用を促進することができた。

### ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：千円	②私有林人工林面積（※1）：4,590ha
③林野率（※1）：50.5%	④人口（※2）：27,981人
⑤林業就業者数（※2）：71人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より